

# 鹿児島県立薩南病院



## 外観

「鹿児島県立薩南病院」は、1952(昭和27)年に県立薩南療養所として開設。施設の老朽化・狭隘化対策と、地域の過疎化・高齢化など、地域医療を取り巻く環境の変化に対応できるよう、移転・建替えを実施した。



## 1F エレベーターホール前 トイレ入口

1Fエレベーターホール前は、正面玄関に近い場所にあるため、トイレの使用頻度が高い。男性トイレ、女性トイレ、だれでもトイレを設置し、入口に対象者をサインで掲示している。

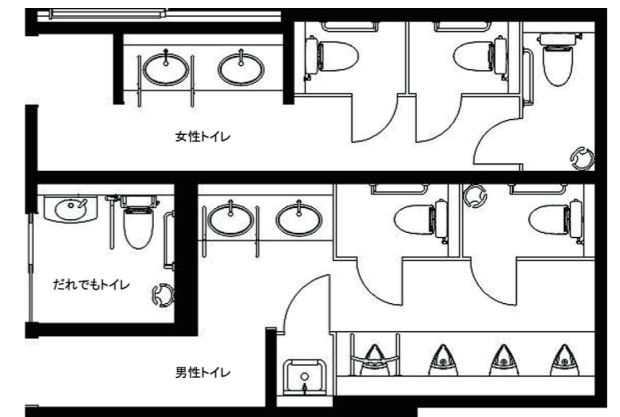


## 1F エレベーターホール前 だれでもトイレ

車いす使用者が利用できるスペースを確保し、さらにお子様連れにも配慮してベビーチェアを完備。押しボタンスイッチで開閉できる引戸を採用している。

## トイレ図面

利用頻度の高い、1Fエレベーターホール前にあるトイレは、男性・女性・だれでもトイレを設置。



## 水まわりの特長

### 建物の特徴

「鹿児島県立薩南病院」は、1952(昭和27)年に県立薩南療養所として開設、以来災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院などの指定を受けるほか、中核的病院として地域医療に貢献している。このたび施設の老朽化・狭隘化対策と地域の過疎化・高齢化など環境の変化に対応すべく、移転・建替えを実施。新病院は、病室から市街地が一望できる高台に位置。災害時の診療継続を見つめて、免震構造を採用した地上6階建とし、屋上にはヘリポートを併設した。また、少子高齢化に対応すべく、新たに産婦人科・麻酔科を新設、2007(平成19)年より休診となっていた小児科を再開。さらに、地域包括ケアシステムにおける後方支援機能を充実させるなど、住民に信頼され、安心して医療を受けられる病院を目指している。

### トイレの特長

新病院の建設については、さまざまな意見を反映するため、鹿児島県、スタッフを含む病院関係者、学識経験者や地域医療関係者などで構成する委員会を立ち上げ検討が重ねられた。水まわりについては、すべて洋式便器とし、手すりを設置。また、外来トイレの大便器ブースについては、倒れた時に対応しやすいよう、外開戸や引戸を採用している。洗面カウンターには、発電タイプの自動水栓を設置し、災害時にも対応できるようにしている。病棟トイレは、左右勝手違いで設置するなど、利用者に配慮。さらに、最新の衛生器具を積極的に採用することで、安全性・衛生性を高めるとともに、環境負荷とランニングコストの低減、災害時の対策に配慮。地域中核病院としてのコンセプトが体現されている。

### 建築概要

名称	鹿児島県立薩南病院
所在地	鹿児島県南さつま市加世田村原4-11
施主	鹿児島県(鹿児島県 県立病院事業管理者)
設計	昭和設計・鹿児島県建築設計監理事業協同組合設計共同体
施工	建築 大林・前田・久保特定建設工事共同企業体 空調・衛生 新菱・南国特定建設工事共同企業体 電気 九電工・明興・中釜特定建設工事共同企業体
竣工年月	2023年5月
敷地面積	19,554㎡
建築面積	5,836㎡
延床面積	15,178㎡
構造・階数	鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造・地上6階

### おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B  
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534A  
棚付二連紙巻器:YH702/自動洗浄小便器:US900R  
マーブライツカウンター(ボウル一体タイプ):MC35/洗面器:L531  
壁掛洗面器:L270C/台付自動水栓:TENA50AW、TLE26J系  
ベビーチェア:YKA15S、YKA16S/幼児用大便器:CS300B、CS310B  
幼児用便座:TCF40、TCF41R/幼児用小便器:U310GY  
幼児用シャワーパン:PFS1100R/パブリック用流し:SKL330H系



## 1F エレベーターホール前 男性トイレ 洗面・小便器コーナー

洗面カウンターは、停電時にも使用できる発電タイプの自動水栓を採用し、お湯が使用できるよう電気温水器を設置している。小便器は、シンプルなデザインと節水機能を両立した壁掛型の自動洗浄小便器を採用している。



## 1F エレベーターホール前 女性トイレ 大便器ブース

スッキリとしたデザインで、連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。男女トイレともに、1ヶ所のブースにはベビーチェアを設置している。



## 3F病棟 トイレ入口

病棟階では、病室にトイレがない方や、面会者が利用するトイレをフロアに数ヶ所配置。ドアは折戸を採用している。



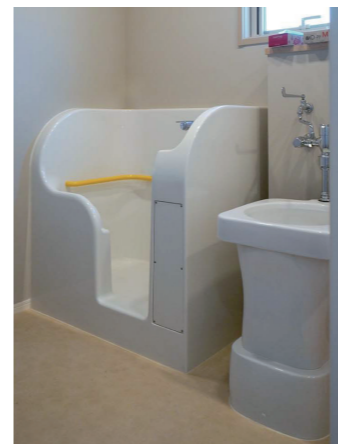
## 3F病棟 トイレ

トイレは、手洗器を設置した個室完結型とし、立ち座り時の安定性の確保や姿勢保持のため、便器の両側に手すりを設置。さまざまな使用者を想定して、左右勝手違いのトイレを配置している。



## 3F病棟 幼児用トイレ

小児科病室の前には、幼児用トイレを設置し、幼児の体格にあわせた、幼児用大便器、幼児用小便器、洗面カウンターを設置している。



## 保育園トイレ

職員のお子様を対象とした保育園を病院に隣接して設置。幼児用大便器と、幼児のシャワーや粗相したときにも対応できるシャワーパン、汚物流しを設置している。